（様式1-2）新規評価シート

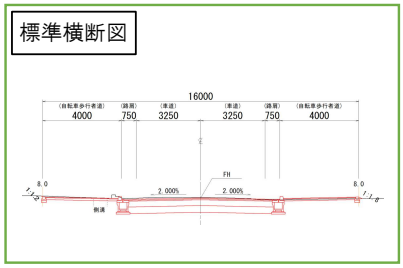
建設部　都市・まちづくり課

事業名	街路			路河川名等	（都）北天神町古吉町線
事業毎の通番	1	市町村名	上田市	箇所名（ふりがな）	川辺町（かわべちょう）

事業の位置づけ	県総合5か年計画における位置づけ	1－2①災害に強いインフラ等の整備の推進 1－6①県民生活の安全確保 3－1④高規格道路等、道路ネットワークの整備の推進 【産業・観光および交通拠点へのアクセス性の向上】	SDGsの関連目標
	関連する計画や重点施策	信州みちビジョン 長野県広域道路交通計画 通学路交通安全プログラム	関連する事業プロジェクト：長野県交通安全実施計画
	現状と課題	本路線は、JR上田駅から放射状に千曲川左岸部の市街地を貫き、上田都市環状道路に接続する道路として、別所温泉等へのアクセスや地域内外の連絡を担うとともに、災害時の県の緊急輸送路（一次）に指定されている主要幹線街路である。 事業区間は、交通需要も高く交通量が多い上、沿線の小中学校への通学路のため歩行者・自転車数も多いが、車道・歩道の幅員が十分確保されておらず、交通安全上危険な状況となっている。	
	事業目的	本事業により、現道の拡幅整備に併せて電線類地中化を行い、交通の円滑化、安全で安心な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市環境を確保するものである。	

事業概要								
着手年度	2024　年度（令和6年度）	事業期間	7年間	事業費（千円）	財源内訳（千円）			
完了年度(予定)	2030　年度（令和12年度）				国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容	道路改築工 L=560m　W=6.5(16.0)m			2,164,000	1,190,200	216,400	681,660	75,740

現在の道路状況



事業効果				
主な受益対象	自動車:13,400台/日（計画交通量）、自転車:26台/昼間12時間、歩行者：19人/昼間12時間（現況交通量）			
期待される効果	走行時間の短縮、走行経費の減少、交通事故の減少 産業・観光の振興、通学路の安全確保、災害に強い道路ネットワーク	費用便益比（B/C） ※B＝便益、C＝費用	1.8	
人口減少を踏まえた将来の活用見込み	将来推計による計画交通量を用いて計画しており、将来的にも十分な活用が見込まれる。			

計画熟度	
地域からの要望経緯及び地域の関わり	北天神町古吉町線道路拡幅促進会より要望がある
事業説明等の経緯	R4年8月　関係地区における計画説明会を実施（事業目的及び整備手法等について概ね合意） R5年11月　都市計画審議会 R5年11月　都市計画の決定（変更）の告示

評価結果							
建設部公共事業評価委員会の意見	本路線の整備により、上田地域における主要幹線街路として、地域間の連携や観光地等へのアクセス性向上、地域における安全・安心な都市環境の確保が図られることから、事業着手は妥当と判断する。					妥当性評価 ※	優先度評価 ※
政策評価室の意見	建設部公共事業評価委員会の意見を妥当と判断する。					○	4.9
県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	県の評価案は妥当	評価の決定	事業着手		

※【妥当性評価】事業実施の妥当性を「○」「×」で判定　※【優先度評価】事業着手の優先度を5点満点で評価（数字が大きいほど優先度が高い）